

適性検査Ⅱ

ちゅう い 注 意

- 1 試験監督の先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 検査問題は、1 ページから8 ページまであります。
- 3 解答用紙は、表と裏の両面に解答らんがあります。解答は、
全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答時間は、45分間です。
- 5 机の上の「受検票」をよく見て、解答用紙に、学校名、
男女、受検番号をまちがいのないように書きましょう。

もんだいようし
問題用紙のあいている場所ばしょは、したが下書きや
けいさん計算しようなどに使用してもかまいません。

1

山口さんは、冬休みに、雪をテーマとした自由研究を行うことにし、
雪に関する疑問をできるだけ考えてみるために、手がかりとなる言葉を
決めて、それに対する疑問を、次のページの表にまとめました。
表をよく見て、(1)から(3)の問いに答えましょう。

<p>て 手がかりと ことば なる言葉</p>	<p>じぶん かんが ぎもん 自分で考えた疑問</p>
<p>うつく 美しさ</p>	<p>「^{うつく}美^{ことば}しさ」という^て言葉を^{ゆき}手がかりとして^{かんが}雪について 考えると、[^{れい}例^{ひと}1 ^{ゆき}なぜ^{うつく}人は^{かん}雪を^{うつく}美しいと^{かん}感じる ^{ぎもん}のか]という^う疑問が^う生まれた。</p>
<p>いろ 色</p>	<p>「^{いろ}色」という^{ことば}言葉を^て手がかりとして^{ゆき}雪について ^{かんが}考えると、[^{れい}例^{ゆき}2 ^{しろ}なぜ^み雪は^み白く^み見えるのか]と ^{ぎもん}いう^う疑問が^う生まれた。</p>
<p>へんか 変化</p>	<p>「^{へんか}変化」という^{ことば}言葉を^て手がかりとして^{ゆき}雪について ^{かんが}考えると、[^①]という^{ぎもん}疑問が^う生まれた。</p>
<p>つた 伝える</p>	<p>「^{つた}伝える」という^{ことば}言葉を^て手がかりとして^{ゆき}雪について ^{かんが}考えると、[^②]という^{ぎもん}疑問が^う生まれた。</p>
<p>ひと あつ 人を集める</p>	<p>「^{ひと}人を^{あつ}集める」という^{ことば}言葉を^て手がかりとして^{ゆき}雪に ^{かんが}ついて^{かんが}考えると、[^③]という^{ぎもん}疑問が^う生まれた。</p>
<p>あら 新たなもの をつく だ を創り出す</p>	<p>「^{あら}新たな^{つく}ものを^だ創り出す」という^{ことば}言葉を^て手がかりと ^{かんが}して^{ゆき}雪について^{かんが}考えると、[^④]という^{ぎもん}疑問が ^う生まれた。</p>
<p>より よく する</p>	<p>「^{より}より^{よく}する」という^{ことば}言葉を^て手がかりとして^{ゆき}雪に ^{かんが}ついて^{かんが}考えると、[^⑤]という^{ぎもん}疑問が^う生まれた。</p>
<p>め み 目に見える もの</p>	<p>「^め目^みに見えるもの」という^{ことば}言葉を^て手がかりとして^{ゆき}雪に ^{かんが}ついて^{かんが}考えると、[^⑥]という^{ぎもん}疑問が^う生まれた。</p>
<p>さっぽろ せかい 札幌 と 世界 のつながり</p>	<p>「^{さっぽろ}札幌^{せかい}と^{せかい}世界の^{つながり}つながり」という^{ことば}言葉を^て手がかりと ^{かんが}して^{ゆき}雪について^{かんが}考えると、[^⑦]という^{ぎもん}疑問が ^う生まれた。</p>
<p>[^⑧]</p>	<p>「[^⑧]」という^{ことば}言葉を^て手がかりとして^{ゆき}雪について ^{かんが}考えると、[^⑨]という^{ぎもん}疑問が^う生まれた。</p>

(1) あなたなら、どのような疑問を考^{ぎもん}え^{かんが}ますか。例^{れい}1と例^{れい}2を参^{さんこう}考^{こう}にしながら、表^{ひょう}の左^{ひだり}側^{がわ}の言^{ことば}語^ごを手^てがかりとして、表^{ひょう}の空^{くう}欄^{らん} [①] から [⑦] に当^あてはまる疑^{ぎもん}問^かを書^かきま^かしょう。

(2) あなた自^{じしん}身^てで手^てがかりとなる言^{ことば}語^ごを1つ決^きめて疑^{ぎもん}問^{かんが}を考^{かんが}え^てるとしたら、ど^どのよう^{よう}に考^{かんが}え^てますか。表^{ひょう}の空^{くう}欄^{らん} [⑧] に手^てがかりとなる言^{ことば}語^ごを書^かき、それ^{それ}に對^{たい}する疑^{ぎもん}問^かを、表^{ひょう}の空^{くう}欄^{らん} [⑨] に書^かきま^かしょう。

(3) 山^{やまぐち}口^{ぐち}さん^{さん}は、表^{ひょう}の疑^{ぎもん}問^{えら}を1つ選^{えら}んで、友^{ゆうじん}人^{じん}の中^{なか}村^{むら}さん^{さん}に、な^なぜ、手^てがかりとなる言^{ことば}語^ごからそれ^{それ}に對^{たい}する疑^{ぎもん}問^うが生^うまれ^まれたのか^かを、山^{やまぐち}口^{ぐち}さん^{さん}自^{じしん}身^みが^{かん}見^みたり感^{かん}じ^{かん}たりなどした体^{たい}験^{けん}と結^{むす}びつ^{むす}けて、具^ぐ体^{たい}的^{てき}に説^{せつめい}明^{めい}するこ^ことに^にな^なりました。

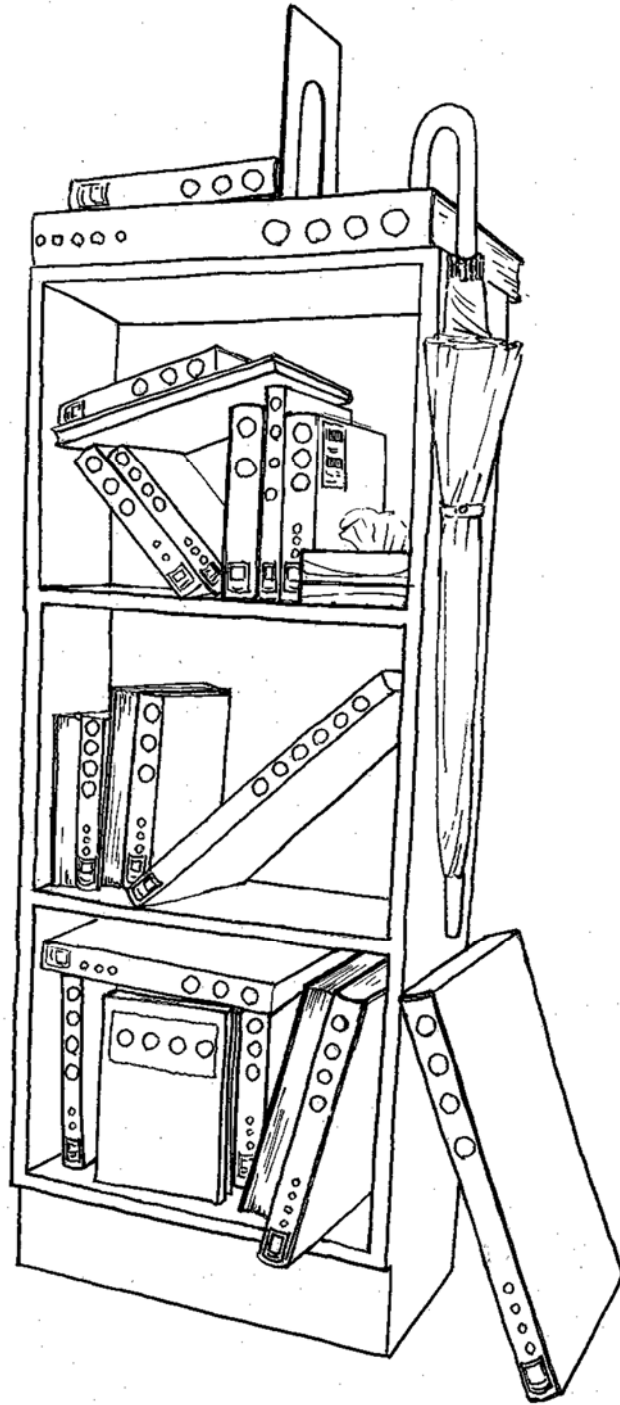
さて、あなたなら、ど^どのよう^{よう}に説^{せつめい}明^{めい}しま^ますか。

あな^{あな}たが答^{こた}え^えた表^{ひょう}の疑^{ぎもん}問^{えら}を1つ選^{えら}んで、そ^その疑^{ぎもん}問^{しょう}を紹^{しょう}介^{かい}しながら、あな^{あな}た自^{じしん}身^みが^{かん}見^みたり感^{かん}じ^{かん}たりなどした体^{たい}験^{けん}と結^{むす}びつ^{むす}けて、手^てがかりとなる言^{ことば}語^ごからそ^その疑^{ぎもん}問^うが生^うまれ^まれた理^り由^{ゆう}を、具^ぐ体^{たい}的^{てき}に説^{せつめい}明^{めい}する文^{ぶん}章^{しょう}を書^かきま^かしょう。

もんだい 問題は、つぎ 次のページにつづ続きます。

2

下のイラストは、山本さんのクラスの本棚です。このイラストと、あとに続く会話文をよく読んで、(1)と(2)の問いに答えましょう。



※ 本の題名や著者名などは○で表しています。

やまもと わたし にんき たか ほん しら
山本さん：私たちのクラスで人気の高い本のベスト3を調べたら、
『マナビーの冒険』『カイ星語の学び方』『開成ロボ入門』
の3冊だったね。

おおにし こんどよ にんき さつ
大西さん：そうだね。今度読んでみようかな。あれ、人気の3冊は、
本棚のどの位置にあるのかな。えーと、『マナビーの冒険』
は、横積みになっているけど、一番上の棚にあるね。残りの
2冊はどこにあるのかな。

やまもと ほん だいめい み かた ほん
山本さん：本の題名が見えないしまい方をしている本もあるから、
すぐにどれがどの本かわからないね。探してみるね。あった。
真ん中の棚に『開成ロボ入門』があるのを見つけたよ。

おおにし せいご まな かた ていねい さが
大西さん：じゃあ、『カイ星語の学び方』も丁寧に探したらみつかるね。
きっと。

(1) イラストや会話文から、山本さんのクラスの本棚には、本棚と
して利用するために、改善した方がよい問題点があると考えられ
ます。あなたは、この本棚にはどのような問題点があると
おもいますか。下の例にならって、あなたが気づいた問題点を、他の
人に伝わるような文にして、10個書きましょう。

れい ほんだな そとがわ ほん た
例：本棚の外側に本が立てかけられている。

(2) 山本さんのクラスでは、みんなで話し合って、本棚として利用
するための改善をするために、みんなで意見を出し合うことになり
ました。あなたなら、どのような問題点をどのように改善しますか。
山本さんのクラスの人たちに改善案を説明する文章を書きましょう。
なお、次の条件に合わせて書くようにしてください。

条件ア (1)であなたが取り上げた問題点を1つだけ書いて
ください。

条件イ 条件アで取り上げた問題点の何が問題なのか、その理由を
書くようにしてください。

条件ウ 条件イで書いた理由を踏まえて、問題点を改善するための
方法について、具体的な例を示しながら書くようにして
ください。

条件エ 文章は、150字以上、200字以内で書いてください。「。」や
「、」も1字として数えてください。

※^{した}下の^{げんこう}原稿用紙は^{した}下書き用なので、^{つか}使っても^{つか}使わなくてもかまいません。^{かいとう}解答は、^{かいとう}解答用紙に書きましょう。

※◆の^{しるし}印から、^{よこが}横書きで書きましょう。^{とちゅう}途中で^{ぎょう}行を変えないで、^{つづ}続けて書きましょう。

(^{した}下書き用)

A large grid for writing, consisting of 10 columns and 12 rows. The grid is defined by solid lines, with dashed lines forming a grid within. A small diamond symbol (◆) is located at the top-left corner of the grid. On the right side of the grid, numerical markers are placed at the following row boundaries: 15, 30, 60, 90, 120, 150, and 180. At the bottom of the grid, a horizontal line is drawn at the 180 mark, and a vertical line is drawn at the 200 mark, forming a small rectangular box with the number 200 written inside.

これで、^{てきせいけんさ}適性検査Ⅱの^{もんだい}問題は^お終わりです。

平成29年度 市立札幌開成中等教育学校入学者選考
適性検査Ⅱ